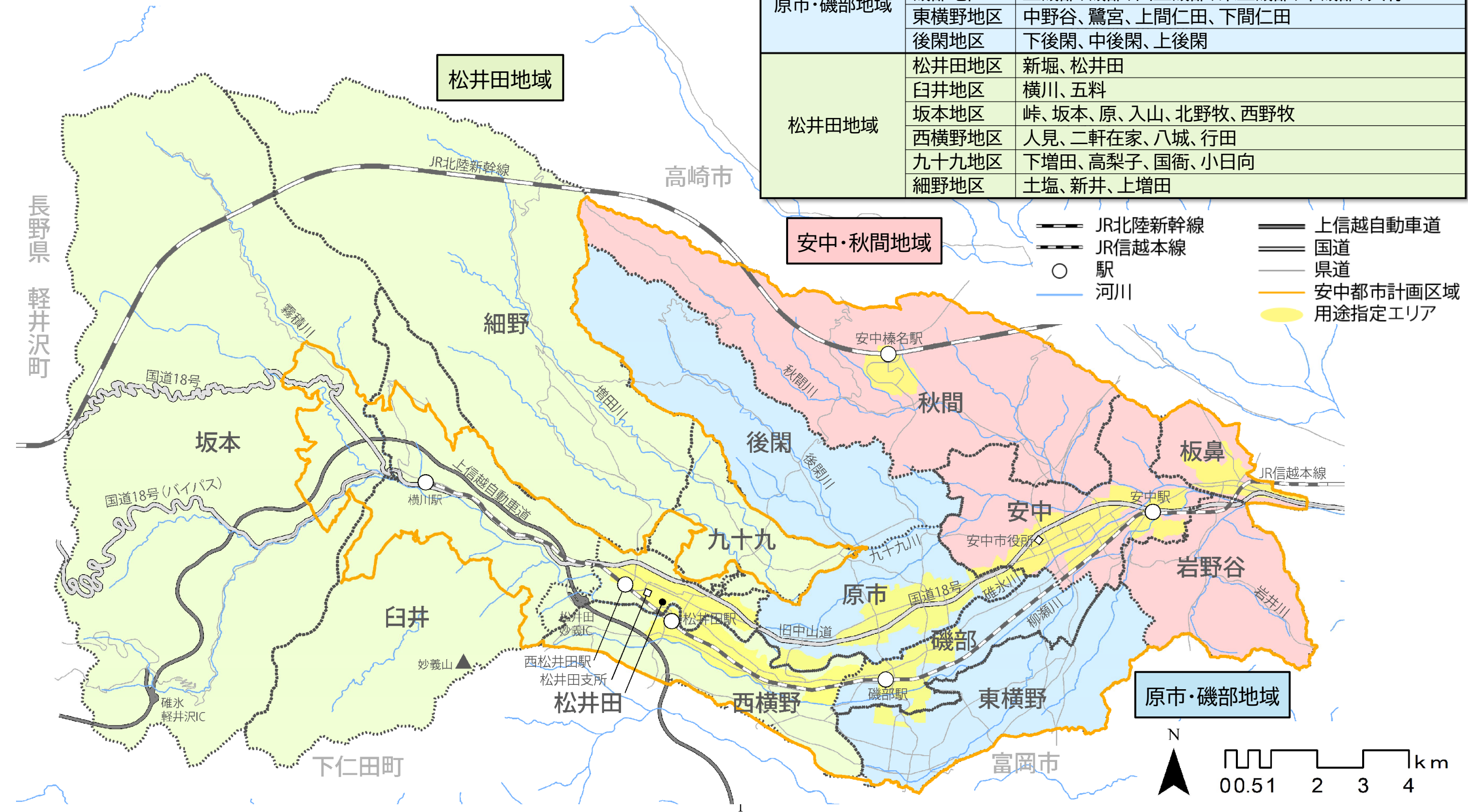


地域別構想案(全域)

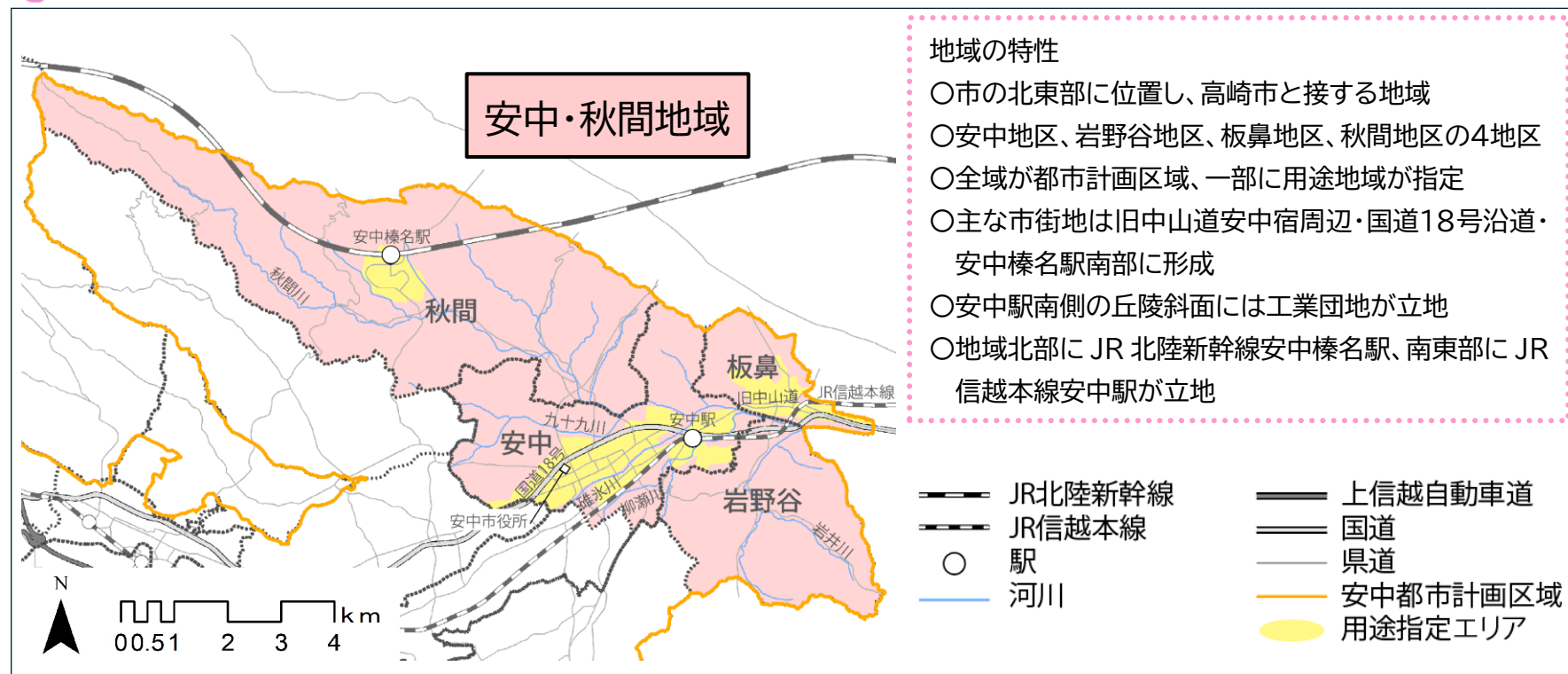
市域を都市拠点・地域生活拠点を中心に『安中・秋間地域』『原市・磯部地域』『松井田地域』の3地域を定めました。

また、これらの地域は市内の行政区のまとまりである 14 地区(4地区、4地区、6地区)に区分して構成しています。

地域別構想地域	行政区	地域
安中・秋間地域	安中地区	中宿、安中、高別当、古屋、小俣
	岩野谷地区	岩井、野殿、大谷
	板鼻地区	板鼻
	秋間地区	西上秋間、東上秋間、中秋間、下秋間、秋間みのりが丘
原市・磯部地域	原市地区	原市、郷原、嶺、築瀬
	磯部地区	上磯部、磯部、西上磯部、東上磯部、下磯部、大竹
	東横野地区	中野谷、鷺宮、上間仁田、下間仁田
	後閑地区	下後閑、中後閑、上後閑
松井田地域	松井田地区	新堀、松井田
	臼井地区	横川、五料
	坂本地区	峠、坂本、原、入山、北野牧、西野牧
	西横野地区	人見、二軒在家、八城、行田
	九十九地区	下増田、高梨子、国衙、小日向
	細野地区	土塩、新井、上増田



地域別構想案(安中・秋間地域)



地区別意見交換会の主な意見

土地利用: 市役所周辺のまちづくりが重要/工場誘致が必要/住宅地の整備が重要
交通: 秋間から安中への交通手段がない/新幹線で買物や通院をしており不便
水・みどり・環境: 里山の保全が必要/農業関係者への支援が必要/傾斜地の活用
防災: 水害対策が必要/避難所の整備/防災情報の共有が不十分/AED の設置
生活環境: 人が集まる公園が少ない/地域の情報発信が少ない/地域コミュニティの活性化が重要/道路や橋が狭い
景観: 道路景観の保全/山並みの景観保全/歴史的な街並みの保全

課題

- 都市拠点として市役所周辺や新駅周辺の拠点機能強化
- 地域北部の地域生活拠点となる安中榛名駅周辺の拠点機能拡充
- 地区間の接続強化
- 新たに整備する西毛広域幹線道路や新駅を活かした交通ネットワークの構築
- 碓氷川や九十九川等の浸水被害や土砂災害等の自然災害への対策
- 秋間梅林等の地域の自然環境の保全・活用

目標と方向性

まちづくりの基本目標1 拠点機能の充実

まちづくりの基本方針

1. 新駅周辺や市役所周辺、安中駅周辺の都市機能の拡大
2. 安中榛名駅周辺の利便性の向上
3. 拠点周辺の居住環境の向上

まちづくりの基本目標2

西毛広域幹線道路整備に伴う沿道まちづくりの推進

まちづくりの基本方針

1. 西毛広域幹線道路沿道の適切な土地利用の誘導
2. 周辺の生活道路との適正な接続と安全性向上
3. 西毛広域幹線道路沿道の良好な街並みの形成と周辺環境との調和

まちづくりの基本目標3 誰もが移動しやすい道路・交通体系の構築

まちづくりの基本方針

1. 国道 18 号や西毛広域幹線道路整備による市内外との連絡強化
2. 新駅設置による新たな交通ネットワークの推進
3. 安中駅周辺と安中榛名駅周辺の地域拠点間の連絡強化
4. 生活道路の安全性や快適性の向上

まちづくりの基本目標4 安全・安心に暮らせる住環境づくり

まちづくりの基本方針

1. 建替えに伴い市役所本庁舎の防災機能の強化
2. 碓氷川や九十九川等の氾濫や土砂災害等の自然災害への対策強化

まちづくりの基本目標5 自然環境や地域資源を活かした交流の促進

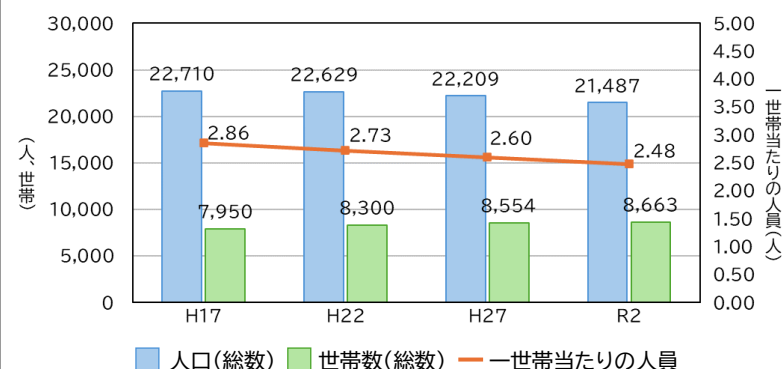
まちづくりの基本方針

1. 地域の歴史や文化にふれることのできる観光・交流空間の創出
2. 公園や広場等の身近な交流空間の創出
3. 碓氷川や九十九川等の河川沿線に親水空間の創出
4. 山並みや秋間梅林等の自然環境・景観の保全

現状分析

人口・世帯数

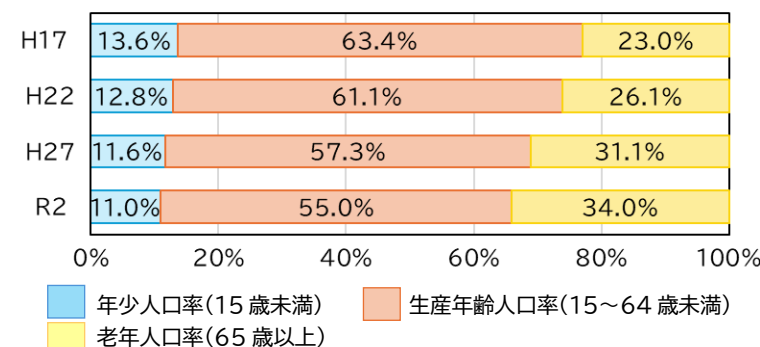
※安中市全域の一世帯当たりの人員：2.49人(R2)



H17以降、人口は減少、世帯数は増加。

3 区分別人口

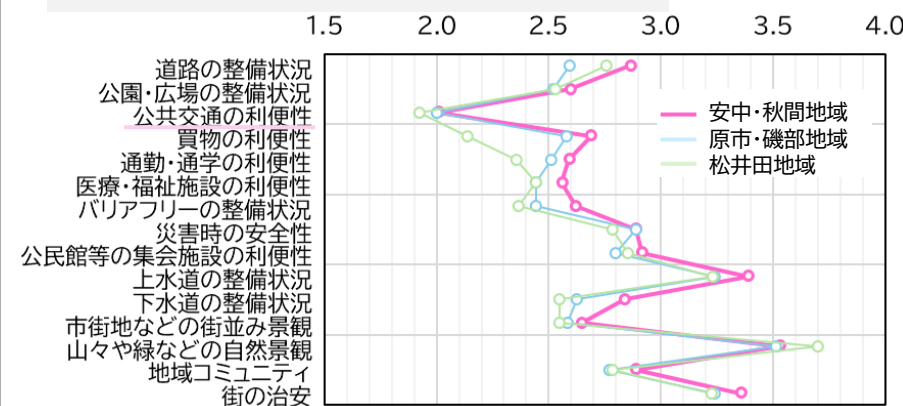
※安中市全域の年少人口率:10.1%
生産年齢人口率:53.7%
老年人口率:36.2%



H17以降、年少人口率及び生産年齢人口率は減少。老年人口率は増加。

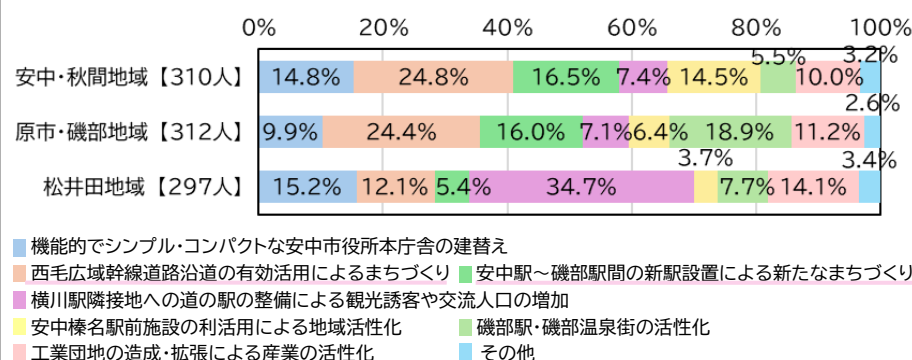
市民意向調査結果

それぞれの環境に対する満足度 n=991



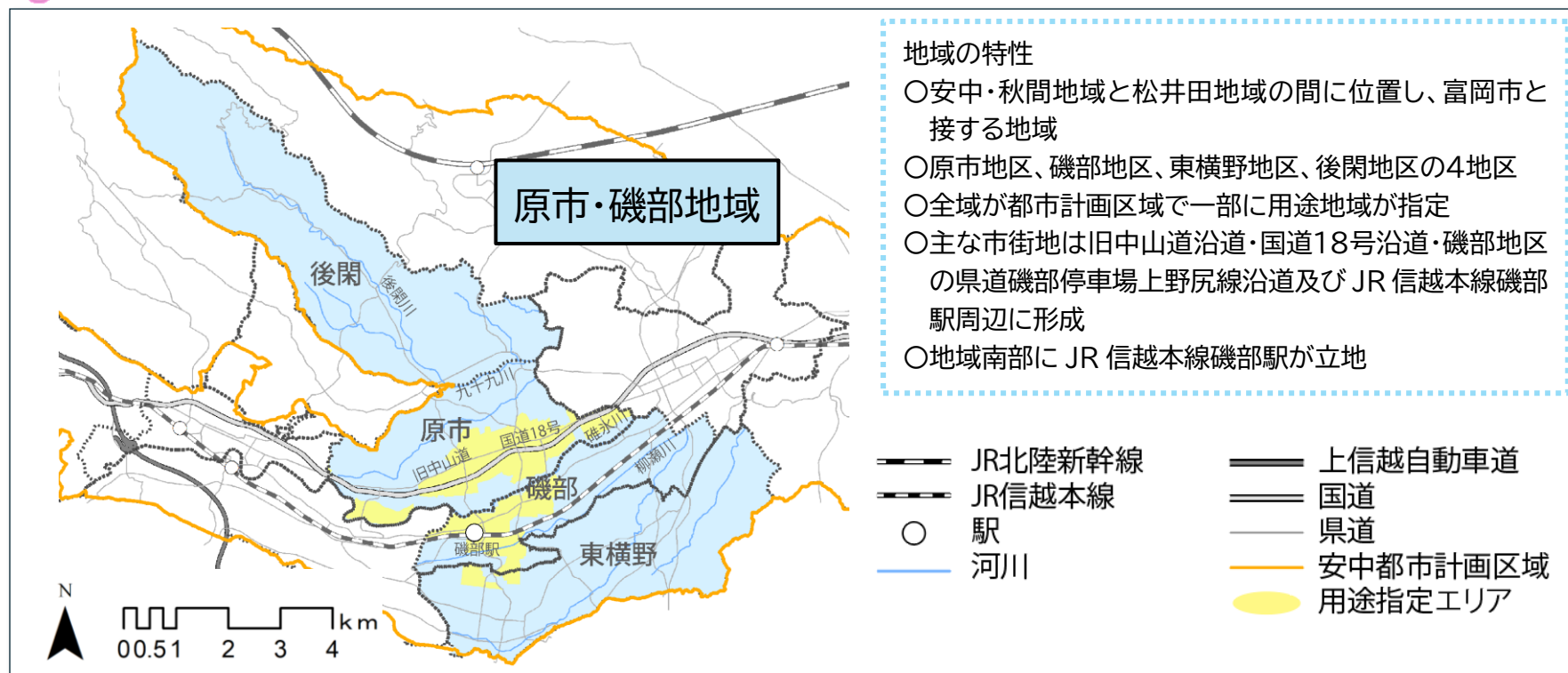
他地域と比べ満足度が高いものが多い。
最も満足度が低いのが「公共交通の利便性」。

市が検討・実施している取組で期待するもの(複数回答) n=991



最も多いのが「西毛広域幹線道路沿道の有効活用によるまちづくり」。
次いで「安中駅～磯部駅間の新駅設置による新たなまちづくり」。

地域別構想案(原市・碓部地域)



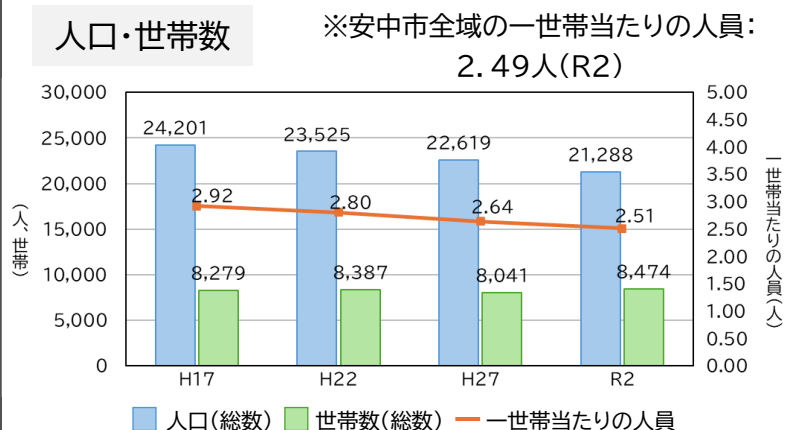
地区別意見交換会の主な意見

土地利用: 産業の誘致が必要/農地転用が困難/スポーツ施設の整備が必要
交通: バス停が遠い/国道18号の渋滞が問題/西毛広域幹線道路の早期整備が重要
水・みどり・環境: 竹害/農業廃棄物が問題/緑が荒れている
防災: 避難経路の確保が重要/車社会/バスが少ない
生活環境: 公園が賑わっている/施設跡地の活用が重要/道が狭い/空家が増加
景観: 温泉街の歴史的町並みや自然景観が重要

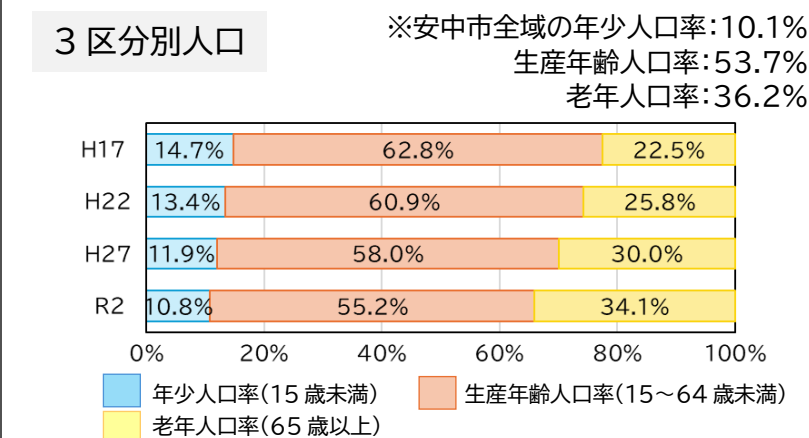
課題

- 碓部温泉街の活性化
- 碓部駅南部の産業機能の拡大
- 碓部駅周辺の歩きやすい空間の創出
- 碓氷川や柳瀬川等の浸水被害や土砂災害等の自然災害への対策
- 地域の交流空間の創出
- 空地・空家の増加防止や有効活用
- 商業施設や医療施設などの生活利便施設の確保
- 自然景観に配慮した産業機能や住環境の誘導

現状分析

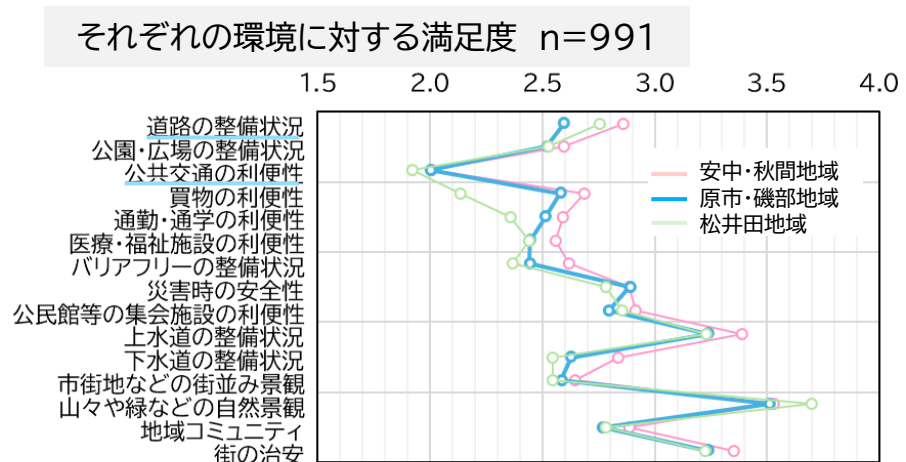


H17以降、人口は減少、世帯数は増減を繰り返しており R2 は増加。

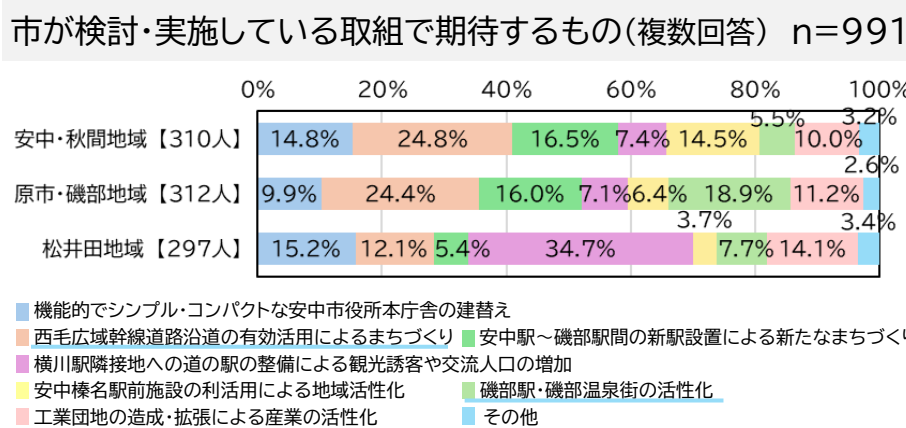


H17以降、年少人口率及び生産年齢人口率は減少。老年人口率は増加。

市民意向調査結果



最も満足度が低いのが「公共交通の利便性」。
他地域と比べ「道路の整備状況」への満足度も低い。



最も多いのが「西毛広域幹線道路沿道の有効活用によるまちづくり」。
次いで「碓部駅・碓部温泉街の活性化」。

目標と方向性

まちづくりの基本目標1

碓部駅・碓部温泉街を観光拠点として魅力の向上

まちづくりの基本方針

1. 地域資源を活かした観光機能の向上
2. バリアフリーに配慮した空間整備
3. 交流の場となる公園や広場の整備
4. 碓部温泉街の歴史的な町並み等の魅力的な景観の保全

まちづくりの基本目標2 都市の産業機能の拡充

まちづくりの基本方針

1. 碓部駅南部等の既存工業用地の産業機能の拡充
2. 周辺の自然環境や景観に配慮した産業施設の誘致
3. 西毛広域幹線道路整備による市内外との物流ネットワークの強化

まちづくりの基本目標3 快適に暮らせる生活環境の創出

まちづくりの基本方針

1. 生活利便性の向上に資する適切な土地利用の誘導
2. 身近な生活道路の整備
3. 空家・空地、施設跡地の増加防止や有効活用
4. 公民館等の交流施設の整備と利便性の向上

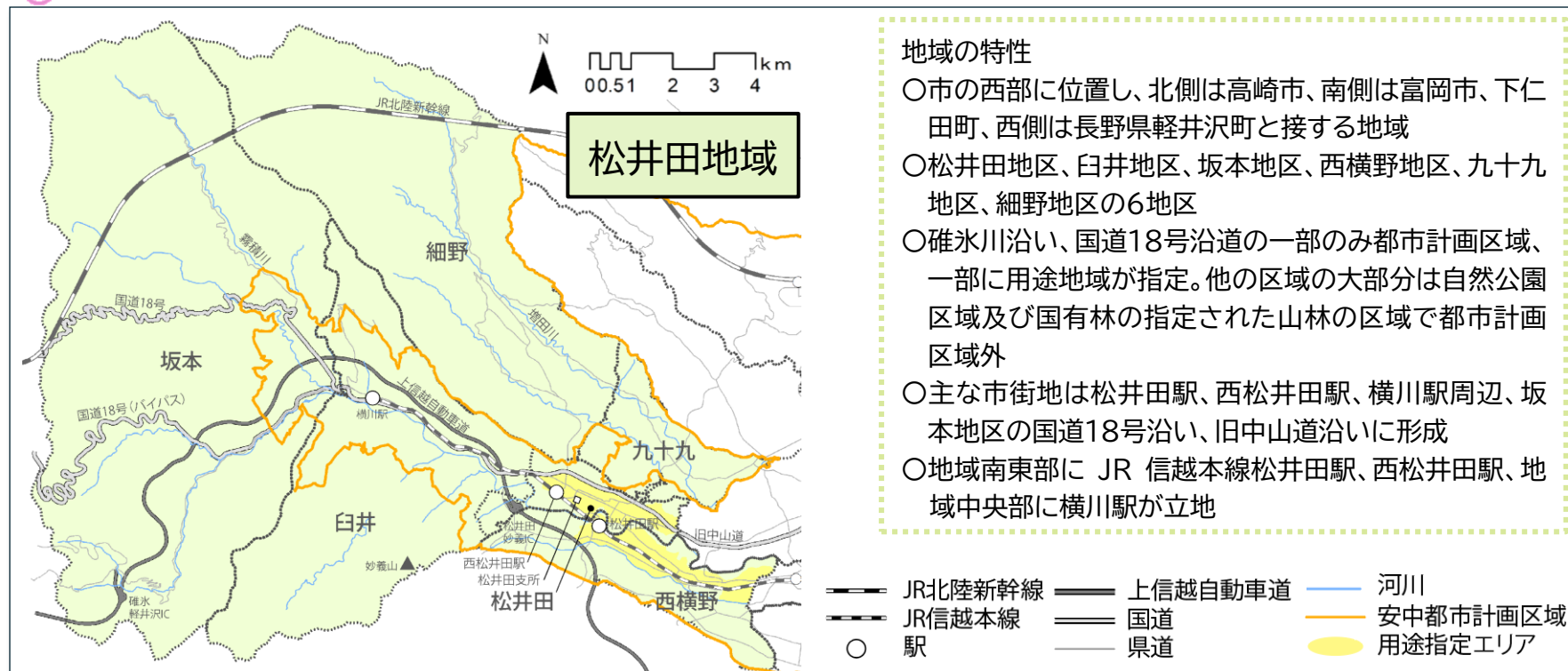
まちづくりの基本目標4

市街地と自然環境が調和した空間の創出

まちづくりの基本方針

1. 市街地と周辺の田園集落を結ぶ交通ネットワークの整備
2. 市街地に介在する身近な自然環境の保全・活用
3. 柳瀬川の氾濫等の自然災害に備えた避難経路・避難場所の確保

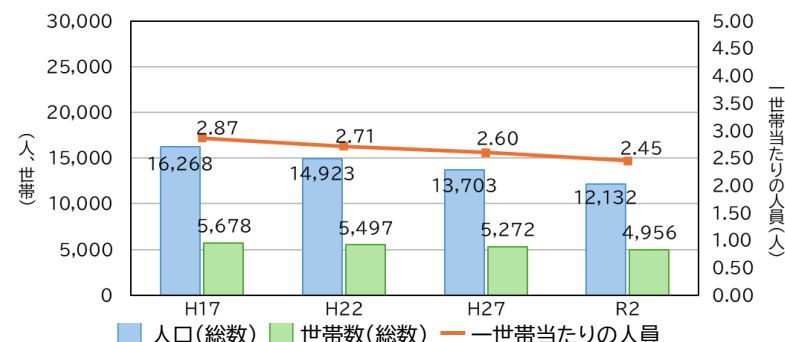
地域別構想案(松井田地域)



現状分析

人口・世帯数

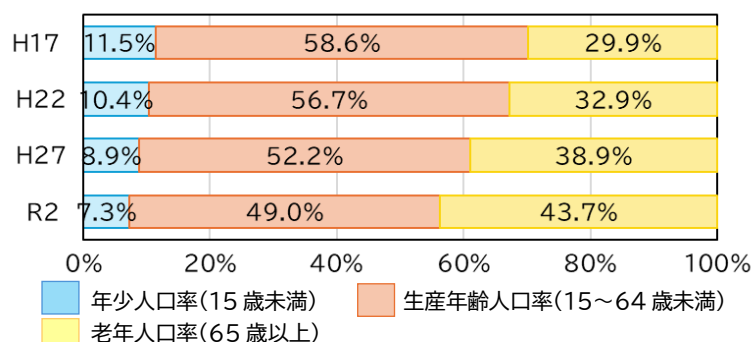
※安中市全域の一世帯当たりの人員：
2.49人(R2)



H17以降、人口及び世帯数は減少。

3 区分別人口

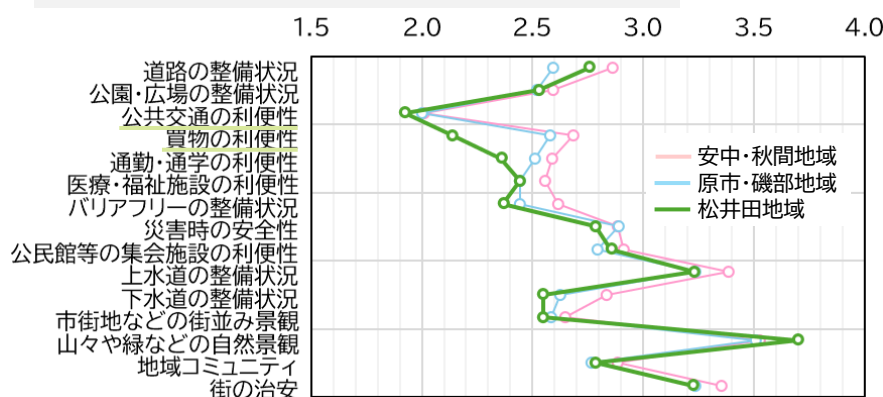
※安中市全域の年少人口率:10.1%
生産年齢人口率:53.7%
老年人口率:36.2%



H17以降、年少人口率及び生産年齢人口率は減少、老年人口率は増加。市全域と比較し老年人口率が6.5ポイント上回る。

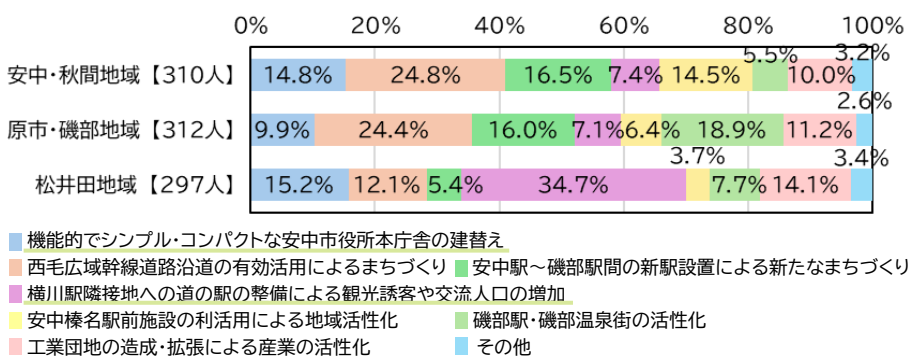
市民意向調査結果

それぞれの環境に対する満足度 n=991



他地域と比べ満足度が低いものが多い。特に大きく下回るのは「買物の利便性」。最も満足度が低いのが「公共交通の利便性」。

市が検討・実施している取組で期待するもの(複数回答) n=991



最も多いのが「横川駅隣接地への道の駅の整備による観光誘客や交流人口の増加」。次いで「機能的でシンプルな安中市役所本庁舎の建替え」。

地区別意見交換会の主な意見

土地利用:定住促進/観光まちづくりの推進/道の駅で地域産業の情報発信
交通:駅や病院まで交通手段がない/バスの充実/タクシーが少ない
水・みどり・環境:耕作放棄地の増加/鳥獣被害が多い/道路に支障木が多い
防災:災害が少ない/防災意識が低い/避難所が少ない
生活環境:空家対策が必要/商店街の衰退/利用されていない公共施設が多い
景観:妙義山の景観が良い/ソーラーパネルによる景観阻害が問題

課題

○松井田駅周辺及び横川駅周辺の地域拠点機能の維持・拡充
 ○碓氷峠の鉄道遺産群等の歴史・文化財の保全と観光拠点としての魅力向上
 ○鉄道やバス、乗合タクシー等の公共交通の充実
 ○山林部の土砂災害や地震等の自然災害への対策
 ○道路等の生活基盤の整備
 ○人口減少と少子高齢化の抑制
 ○耕作放棄地の活用や鳥獣被害対策
 ○妙義山等の山並みの眺望、河川沿岸の自然環境・景観の保全

目標と方向性

まちづくりの基本目標1 地域生活拠点の維持・拡充

まちづくりの基本方針

- 適切な土地利用の誘導と地域生活拠点の維持・拡充
- 生活を支える生活利便施設の計画的な配置
- 周辺の農村集落との連携強化

まちづくりの基本目標2

誰もが移動しやすい交通ネットワークの確保

まちづくりの基本方針

- 他地域や市外と連絡する交通ネットワークの強化
- 買物や通院等の生活交通手段の確保のためのバスやデマンド交通の充実

まちづくりの基本目標3 安全・安心に暮らせる生活環境の創出

まちづくりの基本方針

- 土砂崩れ等の自然災害の事前対策や復旧体制の構築
- 生活道路の整備による安全・安心な歩行空間の創出
- 空家・空地や耕作放棄地の増加防止や有効活用

まちづくりの基本目標4 豊かな自然環境や景観の保全

まちづくりの基本方針

- 自然体験や学習の場創出による地域の交流促進
- 河川・山林・農地の維持・管理
- 妙義山や碓氷湖・妙義湖等の豊かな自然環境や景観の保全

まちづくりの基本目標5

新たに設置される道の駅を活かした観光まちづくりの促進

まちづくりの基本方針

- 道の駅等を活用し地域の観光情報の発信
- 新たな道の駅整備による交通結節機能の強化
- 災害時に備えた防災拠点機能の創出